

## 三浦半島より採集されたオウギカノコアサリ (二枚貝綱: マルスダレガイ科)

倉持 卓司

Kuramochi Takashi: *Veremolpa laevicostata* (Bivalvia: Veneridae)  
Collected from Miura Peninsula, Japan

### はじめに

オウギカノコアサリ (ヒレナシカノコアサリ) *Veremolpa laevicostata* (Kuroda, 1960) は、奄美大島を模式産地として記載されたヒメカノコアサリ属の一種である (Kuroda, 1960)。本種は、波部 (1977) や松隈 (2000) では、紀伊半島以南の潮下帯~水深 20 m の砂底に分布するとされている。筆者は、これまでに分布記録のない三浦半島沿岸より本種を得たので報告する。

本報告にあたり、1970年代の採集記録をご教示いただいた相模貝類研究談話会の渡辺政美氏に感謝申し上げます。

### オウギカノコアサリ

*Veremolpa laevicostata* (Kuroda, 1960)

(図 1)

### 検討試料

2008年3月28日

三浦市三戸海岸 (2 個体)

殻長: 11.4 mm, 殻高: 8.4 mm (図 1)

殻長: 6.5 mm, 殻高: 4.6 mm

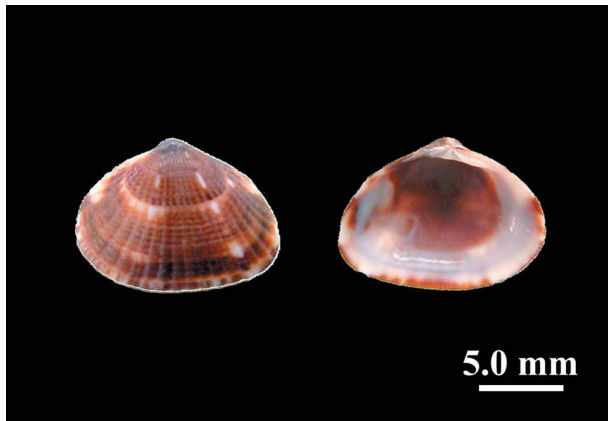


図 1. オウギカノコアサリ *Veremolpa laevicostata* (Kuroda, 1960). 採集年月日: 2008年3月28日. 採集地: 三浦市三戸海岸.

記載. 三浦半島で採集された標本は、殻長 6.5 ~ 11.4 mm, 殻高 4.6 ~ 8.4 mm (2 個体)。殻は横長の卵形。殻の前後端は丸い。殻質は厚い。殻表に同心円肋はなく、平滑で 27 本の弱い放射肋がある。弱い放射肋は、殻腹中央部付近で輪肋と交わりタイル状になる。套線湾入は小さく、垂三角型。腹縁内面に刻み目がある。

比較. これまで日本周辺海域から報告されているヒメカノコアサリ属は、オウギカノコアサリを含め 4 種類が報告されている (波部, 1977; Higo *et al.*, 1999)。ヒメカノコアサリ *Veremolpa micra* (Pilsbry, 1845) は、殻表に鱗片を備えた放射肋を持ち、腹縁中央部の放射肋が分岐することで本種と異なる。チリメンカノコアサリ (ヒゼンカノコアサリ) *V. costellifera* (A. Adams & Reeve, 1850) は、殻後部が裁断状になり、殻表は放射肋と輪肋が交わり布目状になることで本種と異なる。アデヤカヒメカノコアサリ (Yokoyama, 1922) は、横浜市に分布する更新統長沼層を模式産地として記載された種類 (Yokoyama, 1922) で、殻前後部が丸く、殻表は強い輪肋と放射肋が交わり布目状になることで本種と異なる。

### 考 察

三浦半島において本種は、外洋水の影響を受ける開放的な砂礫底環境に生息するヒメアサリ *Ruditapes variegatus* (Sowerby, 1852)、イナミガイ *Gafrarium dispar* (Dillwyn, 1817)、ケマンガイ *Gafrarium divaricatum* (Gmelin, 1791) と同所に生息することが観察されている (倉持, 未発表資料)。

オウギカノコアサリは、紀伊半島以南に分布する (Higo *et al.*, 1999; 松隈, 2000) とされているが、これまでに具体的な採集記録は少なく、模式産地である鹿児島県奄美大島 (Kuroda, 1960) 以外には、和歌山県 (Kuroda & Habe, 1981)、兵庫県但馬 (伊藤, 1967) 千葉県波佐間海岸 (村越, 1998) から記録されているに過ぎない。また、本種は、1970年代に、すでに三浦

半島相模湾沿岸域より採集された資料が存在していることから（渡辺氏私信；1974年10月に三浦市黒崎海岸で採集された殻長13.1 mm, および殻長9.9 mmの2個体の資料を確認）、近年の温暖化にともなって分布域が北進した種類ではなく、三浦半島沿岸域においては古くから採集されていたが、小型種であることからチリメンカノコアサリなどの近似種と混同され記録として残されなかったものと考えられる。

#### 引用文献

- 波部忠重, 1977. 日本産軟体動物分類学 二枚貝綱／掘足綱. 372pp. 北隆館, 東京.
- Higo, S., P. Callomon & Y. Goto, 1999. Catalogue and Bibliography of the marine Shell-bearing Mollusca of Japan. 749pp. Elle Scientific Publications, Yao, Osaka.
- 伊藤勝千代, 1967. 兵庫県北部（但馬）海岸およびその沖合に産する貝類. 日本海区水産研究所研究報告, (18): 39-91.
- Kuroda, T. & T. Habe, 1981. A catalogue of molluscs of Wakayama prefecture, the province of Kii. I Bivalvia, Scaphopoda and Cerhalopoda. Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Special Publication Series, 7(1). 25-220.
- Kuroda, T., 1960. A catalogue of molluscan fauna of the Okinawa Islands (exclusive of Cephalopoda). iv+104pp.+3pls. Pub. University of the Ryukyus, Okinawa.
- 松隈明彦, 2000. マルスダレガイ科. 奥谷喬司編, 日本近海産貝類図鑑. pp. 1004-1005. 東海大学出版会, 東京.
- 村越 康, 1998. 千葉県館山湾（波佐間海岸）における打ち上げ貝類の状況. ひたちおび, 78/79: 4-15.
- Yokoyama, M., 1922. Fossils from the upper Musashino of Kazusa and Shimosa. Journal of the College of Science, Imperial University, Tokyo, 44(1): 1-200.

---

倉持卓司：神奈川県横須賀市芦名 2-6-3-504